

令和 7 年度 総社小学校 学校評価資料

学校経営目標	具体的計画	本年度（令和 7 年度）	
		令和 7 年度の達成基準	主な取組
1 心の教育の充実	【やさしい子】 ① <u>道徳教育，人権教育，総社っ子応援プロジェクトの取組を充実することにより，児童同士の絆や思いやりの心を育て，長期欠席・不登校やいじめの未然防止に努める。</u> ②「すきだ総社小学校運動」すすんで挨拶，きちんと歩行，だまって掃除を推進するとともに愛校心を育てる。 （総社を愛す子供）（心優しい子供）（礼儀正しい子供）	①思いやりの心をもって生活しているという回答が85ポイント以上である。 （児童・保護者・教職員） 【人間関係・特別支援教育】	・児童同士の絆を深められるよう，道徳教育やくすの葉の取組等を継続していくようにする。
		②進んであいさつができていうという回答が85ポイント以上である。 （児童・保護者・教職員） 【人間関係・特別支援教育】	・昨年度はあいさつ運動の活動が活発で良かったので，引き続き継続していくようにする。また，朝のあいさつ運動以外の場面でも挨拶や会釈ができるように，児童会が中心となって，働きかけるようにする。また，本年度も地域のボランティアの方の声を聞き，児童に伝えていくことで，さらにあいさつの輪を広げられるようにする。
2 健康・体力づくりの推進	【たくましい子】 ③健康教育，特別活動を充実することにより，児童に基本的な生活習慣を身に付けさせる。総社東中学校ブロックの学校園と連携し，メディアコントロールの取組を推進する。 ④目標をもって主体的に体力づくりに取り組み，体力の向上を図るとともに最後まで粘り強く頑張る態度を育てる。	③感染症対策として手洗い，換気を行っているという回答が85ポイント以上である。 （児童・保護者・教職員） 【保健安全】	・引き続き，委員会を中心に手洗い励行の取組を行い，感染症予防に努める。また，校内全体で換気に対する意識を高めるために，朝の放送で「手洗い・換気」の声掛けを入れて放送する。
		④睡眠とメディアコントロールを中心に，基本的な生活習慣が身に付くように取り組んでいるという回答が80ポイント以上である。 （児童・保護者・教職員） 【保健安全】	・本年度も，児童用タブレットを使用して結果を集計していくことで，児童の生活習慣の改善に生かせるようにする。 ・家庭へのフィードバックについても，「すぐーる」等を活用して行い，減メディアや上手なメディアとの付き合い方への意識向上を図れるようにする。
		⑤自分から進んで運動しているという回答が80ポイント以上である。 （児童・保護者・教職員） 【保健安全】	・本年度も年間を通して，チャレンジランキングに参加し，体力の向上に努める。また，取組状況を掲示や校内放送等で知らせ，児童の運動意欲の向上に努める。 ・家庭でも声掛けを行ってもらうよう，学級の実態に応じて，通信や懇談などで働きかける。
3 確かな学力の育成	【すすんで学ぶ子】 ⑤児童が主体的・対話的で深い学びを実践し確かな学力を身に付けることができるように授業改善を行う。特に，考える活動や書く活動を重視する。 ⑥朝学習や総小チャレンジタイム，家庭学習の充実を図り，基礎学力の定着を目指す。	⑥自分の考えや振り返りを書いているという回答が85ポイント以上である。 （児童・教職員） 【学力向上】	・学年団で，振り返りの視点を再度確認し，授業で必ず確認をしていく。 ・振り返りの視点は，各学年相応の振り返りを書けるように指導を徹底していく。学習後の振り返りにより，学習をより定着していく。
		⑦国語と算数の単元テストの正答率8割以上の児童が、(低学年80％、中学年75％、高学年70％)80ポイント以上である。 （児童・教職員） 【学力向上】	・学年や、学年内で差があることが目立った。学習の単元に入る前に単元のめあてやねらいを確認するとともに，教材研究ノートを交えての交流をするようにする。 ・計算方法については昨年度と変えず，学校で共通理解をする。
		⑧家庭で10分×学年＋10分勉強しているという回答が80ポイント以上である。 （児童・保護者・教職員） 【学力向上】	・学年間で，宿題の出し方や出す量，現在の子どもの様子を情報共有し，差がないようにする。 ・ナイスノートの掲示をして，自主学習のやり方も高みを目指せるようにする。
4 地域とともにある学校づくり	⑦各種の便り，ホームページの更新，学校評価，学校公開等により，積極的に情報を発信する。 ⑧きらめきEASTの幼稚園，小・中学校や家庭・地域・関係機関等との連携を深め，児童の健やかな成長を図る。	⑨学校から積極的に情報発信が行われているという回答が85ポイント以上である。 （保護者・教職員）	・ホームページや学校だより，学級通信，すぐーる等で学校や学級での子どもの様子をより積極的に情報発信できるようにする。 ・ホームページの更新が短期的にできるように，掲載内容について計画を立てるようにする。
		⑩安心・安全な学校生活を送るために，学校内外の安全確保の取組を行っているという回答が90ポイント以上である。 （児童・保護者・教職員）	・学校支援ボランティアと協力して，登校は校長と生徒指導担当が自転車で学区を見回り，下校は曜日ごとに担当学年が下校指導を継続して行う。 ・毎朝，校内放送で副校長が安心・安全な学校生活を送るように声掛けを継続する。 ・「地区協議会」の学校行事(交通安全)への参加。 ・児童の委員会活動で意識の高揚を図る。